

事務事業名	意欲ある農業者支援事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	26 終了
H29作成課等名	農業課	H29係等名	農村振興係	H28担当課等名	農業課	
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化			
目的	対象(誰・何を)	市内農業者(認定農業者、新規就農者等)			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	新規就農と新たな経営にチャレンジしてもらい、経営を拡大・安定してもらう			農業就業人口(人)※H17センサス:6,370人 H22センサス:4,577人 H27センサス:3,722人	3722
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円			認定農業者数	212
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績
	成果指標	あぐりチャレンジ農業資金新規融資斡旋件数(件)			20	7
	成果指標	農業資金利用計画認定件数(融資件数)(件)			5	7
定性目標						
事業概要	<p>1 あぐりチャレンジ農業資金融資事業 農業者のステップアップを目的とし、低利で柔軟な資金として貸付対象者である新規就農と6次産業化等を促進する農業者と認定農業者等の地域の担い手を育成すると共に、新たな経営展開による地域農業の活性化を目指す。</p> <p>貸付限度額:500万円(H22年度までは個人200万円・団体300万円) 返済期間:10年以内(H22年度までは5年間) 融資利率:貸付開始5年間無利子、6年目以降は日本政策金融公庫資金の最低利率。年度当初に「JAみなみ信州」へ拠出金を預託し年度末に返還。</p> <p>2 認定農業者育成利子助成事業 認定農業者が安定した経営と更なる事業展開を図るために、認定農業者自らが作成する「農業経営改善計画」の実現に向けた取り組みを資金面から支援。低利な資金斡旋と利子助成。資金利用計画の認定をうけた農業者に対し、「農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)」及び、「認定農業者育成推進資金(農業近代化資金)」の融資利子の一部を助成する。</p> <p>3 経営体育成支援事業 地域が認めた中心経営体が、制度資金を活用して農業施設等を整備する場合、事業費の3/10を補助する。担い手確保・経営強化支援事業は国の平成27年度補正予算で実施。事業費の1/2を補助する。</p> <p>4 農業経営改善計画の認定 市の基本構想に基づき農業経営改善計画申請書の認定手続きを年間をととして行う。</p>					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	<p>1 あぐりチャレンジ農業資金融資事業</p> <p>(1)融資照会対応 JAで受付し審査実施後の案件を調整、決裁後融資を承認</p> <p>(2)市単独農業資金預託金 市3,000万円 JA3,000万円 計6,000万円 2倍運用で12,000万円融資可能</p> <p>2 認定農業者育成利子助成事業 (スーパーL資金、農業近代化資金)</p> <p>(1)農業資金利用計画認定、融資照会に対する相談</p> <p>(2)既存融資に対する利子助成・補給事務(年2回)</p> <p>3 経営体育成支援事業</p> <p>(1)経営体育成支援事業(国)事業費の3/10助成</p> <p>(2)担い手確保・経営強化支援事業(国)事業費の1/2助成(27→28繰越明許)</p> <p>4 農業経営改善計画認定</p>			<p>1 融資実行件数(年度末現在)</p> <p>2 農業資金利用計画認定件数</p> <p>(1)スーパーL資金</p> <p>(2)農業近代化資金</p> <p>3 補助件数</p> <p>(1)経営体育成支援事業</p> <p>(2)担い手確保・育成支援事業</p> <p>4 認定農業者数</p>		<p>1 20件</p> <p>2</p> <p>(1)0件</p> <p>(2)5件</p> <p>3</p> <p>(1)5件</p> <p>(2)3件</p> <p>4 212経営体</p>
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		31,771	76,200	46,472	23,946	(県)農業経営基盤強化資金利子助成補助金 662千円
国庫支出金						(県)経営体育成支援事業補助金(国3/10) 7,720千円
県支出金		5,916	45,011	20,921	23,946	(県)担い手確保・経営強化支援事業補助金(国1/2) 12,539千円
起債						(そ)諸収入(あぐりチャレンジ農業資金貸付預託金回収金)
その他		25,000	30,000	25,000		
一般財源		855	1,189	551		
人件費計(千円)②		0	2,503	2,861	0	
正規職員所要時間			700	800		27→28繰越明許費 12,683千円
臨時職員所要時間						28→29繰越明許費 23,946千円
総事業費①+②		31,771	78,703	49,333	23,946	
事業内容・目標達成状況の振り返り	あぐりチャレンジ農業資金については貸付件数は20件、貸付金額は44,290千円と増加。農業資金利用計画は近代化資金融資件数5件ですべてが利子補給(県)の対象。経営体育成支援事業は5地区で採択があり補正予算で対応した。担い手確保・経営強化支援事業はH27からの繰越で3地区が助成対象。認定農業者の認定件数は212件であり地区へ出向き申請方法や支援制度の説明を行った。					
改革改善の考え方	①問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の農家や認定農業者数が高齢化等の理由により減少傾向にある。</li> <li>市内の農家や認定農業者への支援策等の情報が広く周知されていない。</li> </ul>				
	②改革提案	農業経営改善には農業設備への投資とそれに対する行政の支援は不可欠。金融機関と連携し融資以外の支援も含め多面的に支援していく必要がある。支援策は説明会の開催やHPの活用等により農家へ広く周知する必要がある。				